

2022年度（一社）鳥取青年会議

委員長 所信書

委員長 熊田 雄二

全国各地、各LOMの会員数は2013年から8年間で1万人会員数が減少し、LOMの解散も全国的な問題となっている中、鳥取JCも2019年度以降、会員数が100名を切っており、2022年スタート時点で82名の会員となります。脈々と受け継がれてきた鳥取JCの歴史を途切れさせないためにも、会員一人一人が現状を理解し、真摯に受け止め、100人規模の組織維持に必要な共通認識、具体的な必達目標の策定が必要です。

まずは安定的な会員数維持のために、退会率、平均所属年数、所属会員平均年齢等、全国のLOMと比較し、鳥取JCの良いところ悪いところを抽出し、全会員の共通認識にすると共に三信条の基、一人一人が自己成長に繋がる機会を発見できる場としていきます。そして全員で取り組む拡大活動の意識を醸成するための階層別セミナーを開催し、全国の各LOMがどのような拡大活動を行っているか知り、新たな気付きの場として頂きます。さらに新たな拡大情報を入手するため、学生や30歳以下の方に参加者してもらえらる異業種交流会を開催し、鳥取JCの存在を多くの方に知ってもらえらるきっかけとしていきます。また、退会者を出さないことが拡大に直結するという重要性を認識して頂くため、理由はどうあれ途中で投げつけ退会する会員が出ないよう、活動に参加できていない会員にも目を向け、興味を持つ機会の場を創ります。そして、仕事、趣味、出身校、家族構成が分かる仲間が何人いますか？仲間を知り理解し受け入れることが重要な要素と捉え、結果退会者が出ず安定した活動展開を行うことで鳥取JCを地域になくてはならない存在にします。

仲間が増える、様々な勉強ができる学びの場、仕事のつながりが広がる、このような目的でJCに入った自分中心の考えをしていた会員が多くの仲間と活動することで、地域のこと、国のこと、世界のことを考えられる価値観を変えた会員が鳥取JCに溢れています。

他人のこと、地域のことを真剣に考えられる人間が多いことこそ地域貢献ではないでしょうか。人、地域に対して思いやりのもてる人間を一人でも多く輩出できるよう、100人の仲間と研鑽し合える環境作りを率先垂範して行動していくことを約束させていただきます。